

第35期長崎県社会教育委員紹介

所属 長崎市立村松小学校 (校長)

氏名 郷野 和代 (ファシリネーム: ごうちゃん)

主な活動

学校現場では、子どもを守るネットワークの方々と協力し、地域の方とのふれあいを目的とした遊び体験やもちつき等の行事に参加しています。

夏休みには、各地区を回ってラジオ体操に参加したり、鯉の放流やスイカ割り体験などの自治会の行事にも参加したりしています。

また、PTAの親子活動において、ながさきファミリープログラムのファシリテーターをさせていただいたり、放課後児童クラブの保護者会で家庭教育のお話をさせていただいたりしています。学びを深めるため、月1回親子の育ちについて学ぶ学習会に参加しています。



【地域のラジオ体操】



【高校生も一緒にもちつき】

社会教育に対する思い

10年前に、県の子ども未来課に勤務し、家庭教育に関わる仕事を5年ほどさせていただきました。そのときに初めて、学校の外にはこんなにもたくさんの方が子どもや母親のことを思って活動されているのだということを知り、驚きました。

また、単に活動が好きだからつながっているというグループの方々にもたくさんお会いしました。ただ、どなたにも共通しているのは、「楽しそうにやっていること」「その場所にとどまっではないこと」でした。

今の私にできることは、人に寄り添い、メッセージを発信し続けることだと思っています。子どもには五感を使って体験するために「とにかくやってみよう」と、お母さんには自信を持つように「大丈夫だよ」と言ってあげたいです。最近では、ふるさとのためにがんばる県内の高校生や大学生などの若者の活躍がよく見られ、長崎の明るい未来を期待しているところです。